

日本社会人団体馬術連盟

第 11 回 JBG 選手権大会

プ ロ グ ラ ム

と き：平成 24 年 3 月 31 日(土) ～ 4 月 1 日(日)

と ころ：JRA 馬事公苑

主 催：日本社会人団体馬術連盟

後 援：日本馬術連盟 JRA 馬事公苑

協 賛：レッキス工業株式会社 (株)日本馬事普及

大会役員

大会会長 菅原 俊之
大会副会長 今井 雄一
大会顧問 千 玄室 三笠 貞弘 斎藤 十朗 高橋 正
宮川 恭一 田所 忠夫 樋口 正明 駒井 雅夫
参 与 内田 忠 盛谷 通哉 平井 雅郎 袋 敏洋 合田 功

大会委員長 高橋 宗和
審判長 新垣 恒則
審判員 丹澤 太良 浅野 純子 児玉 彰 江口 昌也 細田 壮一
救護医師 岩井 信市
救護獣医師 月川 大樹
コースデザイナー 大町 孝浩
スチュワード 山梨 拓磨 上村 優一郎 高橋 真一郎
総務委員長 中川 博健
競技委員長 孕石 智司
競技副委員長 森下 力 大鳥井 浩一
競技委員 早田 恭彦 平林 小秋 山岸 広史 若松 麻里
岩井 信市 小宅 祥子 児玉 彰 上村 優一郎
小林 達也 鈴木 貴晴 高桑 浩彰 中河 聖夏
山梨 拓磨 與儀 七恵 林 晴生
記 録 石津 智広 山崎 幹子 関 美雪 林 晴生
放 送 若松 麻里 安西 恵美 藤田 直美
賞 典 中川 博健 能勢 満司
会 計 能勢 満司
馬 匹 児玉 彰

馬匹提供団体 中島トニアシュタール ノースランドライディングクラブ
壬生乗馬クラブ

競技運営 日本社会人団体馬術連盟 加盟団体所属部員
運営協力 関東学生馬術協会

(順不同、敬称略)

第11回 JBG 選手権大会 競技日程

■ JBG 選手権 ドレッサージュ (ドレッサージュアリーナ・ポケット)

平成 24 年 3 月 31 日(土)	8:00	役員集合(大会本部)
	8:30	選手、補助役員集合(大会本部前)
	9:30	馬出し、準備運動
	10:00	競技開始 (1 鞍目)
平成 24 年 4 月 1 日(日)	11:00	選手、補助役員集合(大会本部前)
	12:00	馬出し、準備運動
	12:30	競技開始 (2 鞍目)
	14:30	決勝戦
		表彰式 (ウィナーズサークル)

■ JBG 選手権 ジャンピング (メインアリーナ)

平成 24 年 3 月 31 日(土)	10:00	選手、補助役員集合(大会本部前)
		抽選、障害設営、昼食、下見
	14:00	馬出し、準備運動、試走
	14:30	競技開始(1 回戦)
		終了後、障害組換え
平成 24 年 4 月 1 日(日)	8:00	役員集合(大会本部)
	8:30	選手、補助役員集合(大会本部前)、下見
	9:10	馬出し、準備運動、試走
	9:30	準決勝競技開始
	10:10	障害組換え、下見
	10:40	決勝使用馬匹馬出し、準備運動、試走
	11:00	決勝競技開始
		表彰式 (乗馬、メインアリーナ)

ドレッシング選手・補助役員・馬取扱者

No.	選手氏名	団体選手	所属団体	補助役員	馬取扱者
1	増田 昇	—	警視庁乗馬同好会	菊池 巧	角田 徳子
2	金子 春起	—	皇宮警察馬術部	上村 優一郎 森岡 裕子	金子 友見子
3	馬場 毅	—	佐川急便関西支社馬術競技部	脇田 昌宣	—
4	飯田 茂幸	飯田 茂幸	社会人昭和大学ライディングチーム	岩井 信市	—
5	渡辺 脩	渡辺 脩	社会人昭和大学ライディングチーム		芹沢 友里
6	加来 賢一	—	衆議院乗馬会	山崎 幹子	佐藤 圭 近藤 英之
7	高橋 宗和	高橋 宗和	東京都庁体育会乗馬部	横溝立夫 平田慎治	荒井 洋子
8	—	木村 郁実	東京都庁体育会乗馬部		井上 加奈子
9	—	植野 水緒	東京都庁体育会乗馬部		田中 郁里
10	鳥塚 鈴子	—	特別区文化体育会乗馬部	孕石 智司	鳥塚 修
11	大島井 浩一	大島井 浩一	トッパン・フォームズ馬術部	須藤 奏美	小幡 圭一
12	—	早川 太郎	トッパン・フォームズ馬術部		—
13	中島 章博	—	日本アイ・ビー・エム馬術部	川瀬 洋平 江上 款	斉藤 愛 堀田 順子
14	北村 美緒	北村 美緒	日本馬事普及馬事研究部	高橋 真一郎	堀江 由美
15	山野 千春	山野 千春	日本馬事普及馬事研究部		板倉 友和
16	大島 由美子	大島 由美子	パナソニックエコソリューションズ馬術部	宮田 佳代 大竹 由紀	—
17	—	荒川 純一	パナソニックエコソリューションズ馬術部		—
18	安藤 洵	—	富士通馬術部	千葉 陽一 坂口 岳大	脇田 芳二
19	田原 孝幸	—	富士通馬術部		新庄 麻子
20	関 美雪	—	山田&パートナーズ 馬術部	障害役員	—

ジャンピング選手・補助役員・馬取扱者

No.	選手氏名	所属団体	補助役員	馬取扱者
1	上村 優一郎	皇宮警察馬術部	金子 春起	佐々木 功 棟居 裕尚
2	森岡 裕子	皇宮警察馬術部		—
3	中尾 昌代	財務省乗馬会	中川 博健	—
4	松下 浩之	佐川急便関西支社馬術競技部	脇田 昌宣	—
5	馬場 毅	佐川急便関西支社馬術競技部		—
6	龍 家圭	社会人昭和大学 ライディングチーム	岩井 信市	—
7	渡辺 脩	社会人昭和大学 ライディングチーム		出口 太一
8	吉川 恵美子	損害保険ジャパン馬術部	小宅 詳子	—
9	渡邊 光子	特別区文化体育会乗馬部	水野 史朗	河内 孝彦 菊谷 雅仁
10	大鳥井 浩一	トッパン・フォームズ馬術部	早川 太郎	柳 将徳 未派遣
11	中島 章博	日本アイ・ビー・エム馬術部	早田 恭彦	高木 珠代 久保 知之
12	渡辺 泰彦	日本航空乗馬会	安西 恵美	金子 栄
13	鶴見 直大	パナソニック乗馬部	毛利 拓生	鶴見 加奈子
14	田原 孝幸	富士通(株)馬術部	玉置 晴之	碓井 滋敏
15	山川 善久	富士通(株)馬術部		後藤 頼太
16	鎌田 和明	防衛省乗馬同好会	神原 英治	今 修治

第 11 回 JBG 選手権大会 ドレスサージュ 実施要綱

1. 出場資格

先に実施した予選競技会(第 11 回 JBG カップ スプリング及び同オータム)において出場資格を取得し、大会開催時点で本連盟の会員資格を有する団体及び個人とする。

2. 団体戦出場有資格者

予選に出場した選手で所属団体内のポイント上位 3 名までとするが、1名に限り繰上がり認めめる。

3. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟馬場馬術競技会規程第 24 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 23 年度版を採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再演技を行う。

(1) 1 回戦及び団体戦

ア 出場資格のある選手を、個人選手 1 ブロック 4 名からなる 4 ブロック及び団体選手からなるブロックに分け各ブロック毎に 2 頭の馬匹を割当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、日本馬術連盟制定馬場馬術競技第 3 課目 2009B を行う(土曜日・日曜日で行う)。

イ 2 鞍の合計得点率をその選手の得点率とする。

(2) 決勝戦

1 回戦の各ブロック(個人選手からなるブロックに限る)の第 1 位 4 名が 2 頭に騎乗して決勝戦を行う。

課目は、日本馬術連盟制定馬場馬術第 3 課目 2009A を課す。

4. 順位の決定

(1) 団体順位

ア 1 回戦の上位 2 名の成績により順位を決定する。

イ 上位 2 名の合計得点率の高い団体を上位とする。

ウ 得点率が同じ場合は、上位 2 名の全審判員の総合観察点の合計得点の高い団体を上位とする。

エ ウで決まらない場合は、上位 2 名の C 点審判員の総合観察の合計得点の高い団体を上位とする。

オ エで決まらない場合は最も高い得点率者の所属する団体を上位とする。

(2) 個人順位

ア 1 回戦の 2 鞍の合計得点率の高い方を上位とする。

イ 1 回戦の個人選手上位 4 名はさらに決勝戦を行いその合計得点率の高い方を上位とする。

ウ 5 位以下については 1 回戦の順位をもって決定する。

エ 合計得点率が同じ場合は全審判員の総合観察点の合計得点の高い方を上位とする。

オ エで決まらない場合はC点審判員の総合観察の合計得点の高い者を上位とする。

カ オで決まらない場合は1鞍の最も高い得点率者を上位とする。

5. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 準備運動は5分以内とする。
- (4) 拍車は3.5cm以内の丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示に従うこと。

第 11 回 JBG 選手権大会 ジャンピング 実施要綱

1. 出場資格

先に実施した予選競技会(第 11 回 JBG カップ スプリング及び同オータム)において出場資格を取得し、大会開催時点で、本連盟の会員資格を有する個人とする。

2. 競技方法

競技規定は、国際馬術連盟障害飛越競技会規程第 23 版及び日本馬術連盟競技会規程平成 23 年度版(失権者の減点算出法、障害飛越競技に関する周知事項)を採用する。2 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合、競技前・途中の如何を問わず、予備馬による再走行を行う。

- (1) 1 ブロック 4 名からなる 4 ブロックに分け、各ブロックに 2 頭の馬匹を割当て、各選手はそれぞれの馬匹に騎乗し、2 鞍の総合成績によって勝敗を決する。各ブロックの上位 2 名が準決勝へ進出する。
- (2) 準決勝も 1 回戦と同様に 4 名からなる 2 ブロックに分け、各ブロックの上位 2 名が決勝戦へ進出する。
- (3) 決勝戦は 4 名がそれぞれ 4 頭の馬匹に騎乗し、4 鞍の総合成績によって勝敗を決する。

3. 順位の決定方法

- (1) 選手の騎乗成績の合計により各ブロック内の順位を決定する。
- (2) 各ブロック内の順位は、次の者を上位とする。
 - ア 減点の少ない者
 - イ 減点合計が同点の場合は、各走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の合計の少ない者
 - ウ イで決まらない場合は、減点 0 の多い者
 - エ 以上で決まらない場合は、抽選とする。
- (3) 決勝戦は FEI 規程 238 条 2-1 による。

4. その他

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 拍車は 3.5cm 以内の丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示により、これを認めないこともある。
- (4) 準備運動は 3 分 2 飛越とする。ただし、飛越回数にクロス障害の飛越は含まない。
- (5) 選手の準備運動場における飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越については罰金 3 万円を課す。

- (6) 1回戦および準決勝で敗退した選手は、競技役員としてその後の大会運営を手伝うこと。
特に1日目1回戦で敗退した選手は、必ず2日目も来苑し運営に参加すること。

歴 代 成 績

第1回(2002年)～第6回(2007年)

	ジャンピング	ドレッサーージュ	ドレッサーージュ 団体
第1回(2002年) JRA馬事公苑			
優勝	大鳥井 浩一	藤森 香織	富士通(株)乗馬部
準優勝	平林 小秋	小島 久昌	東京都庁体育会乗馬部
第3位	石原 崇	中村 善彦	伊藤忠商事相互会乗馬部
第4位	菅谷 吉樹	岸 俊樹	-
第2回(2003年) JRA馬事公苑			
優勝	森谷 祥司	小島 久昌	特別区文化体育会乗馬部
準優勝	大鳥井 浩一	鳥塚 鈴子	松下電工(株)馬術部
第3位	竹村 博行	小宅 俊継	警視庁乗馬同好会
第4位	増田 昇	長町 佳昌	-
第3回(2004年) JRA馬事公苑			
優勝	森谷 祥司	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
準優勝	近藤 英之	中岡 義晴	伊藤忠商事相互会乗馬部
第3位	嵯峨 友規	増田 昇	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
第4位	倉田 昌雄	久保 知之	-
第4回(2005年) JRA馬事公苑			
優勝	菅谷 吉樹	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
準優勝	森谷 祥司	増田 昇	特別区文化体育会乗馬部
第3位	與儀 七恵	児玉 彰	富士通(株)乗馬部
第4位	山口 紗世	中岡 義晴	-
第5回(2006年) JRA馬事公苑			
優勝	山口 紗世	児玉 彰	警視庁乗馬同好会
準優勝	伴 茂樹	豊田 隆司	特別区文化体育会乗馬部
第3位	竹松 弘継	内門 小秋	東京都庁体育会乗馬部
第4位	松下 浩之	鳥塚 鈴子	-
第6回(2007年) JRA馬事公苑			
優勝	上村 優一郎	児玉 彰	富士通(株)乗馬部
準優勝	久保 知之	山口 紗世	特別区文化体育会乗馬部
第3位	三田寺 慎一	豊田 隆司	警視庁乗馬同好会
第4位	高橋 宗和	内門 小秋	-

第7回(2002年)～第10回(2011年)

	ジャンピング	ドレッサージュ	ドレッサージュ 団体
第7回 (2008年) 山梨県 馬術競技場			
優勝	山本 宏二	児玉 彰	警視庁乗馬同好会
準優勝	仙名 翼	平林 小秋	トッパン・フォームズ(株)馬術部
第3位	久保 知之	大鳥井 浩一	日立国際電気(株)馬術部
第4位	渡邊 綾子	山邊 真一	-
第8回 (2009年) JRA 馬事公苑			
優勝	平林 小秋	豊田 隆司	富士通(株)乗馬部
準優勝	山本 宏二	中岡 義晴	警視庁乗馬同好会
第3位	鈴木 麻美	大鳥井 浩一	特別区文化体育会乗馬部
第4位	山岸 広史	山口 紗世	-
第9回 (2010年) JRA 馬事公苑			
優勝	塚田 隆彦	渡辺 脩	特別区文化体育会乗馬部
準優勝	上村 優一郎	久保 知之	パナソニック電工(株)馬術部
第3位	早川 太郎	山邊 真一	東京都庁体育会乗馬部
第4位	馬場 毅	山口 紗世	-
第10回 (2011年) JRA 馬事公苑 - 中止			
優勝	-	-	-
準優勝	-	-	-
第3位	-	-	-
第4位	-	-	-
第11回 (2012年) JRA 馬事公苑			
優勝			
準優勝			
第3位			
第4位			